

ミュージアムの展示替えってどんなことをしているの？

4月8日～12日の5日間、9階常設展示室の展示替えをおこない、華やかに提灯が通りを彩る「夏祭りの飾り」の風景に変わりました。

そもそもミュージアムの展示替えってどんなことをしているのか、今回はその裏側をこっそりご紹介します。



屋根瓦の埃取り。半年たつと屋根は埃だらけになります。職人さんが実際屋根に登って掃除機を背負い埃を取り除いていきます。



通りの補修。じーっと通りを見つめると路面に黒い染みがポツポツ見受けられます。実はこれはジュースのこぼし染み？（展示室内では飲食禁止なのですが…）黒い部分を削って塗りなおす補修もしっかりおこないます。



天神祭りの風景といえば、高張提灯。提灯を飾る竿を一本ずつ手作業で設置していきます。



これは大阪市指定有形民俗文化財の船形山車「天神丸」。解体して収納していた山車のパーツを職人さんが1日かけて組み立てて展示します。



学芸員が、御迎え人形「雀踊り」
(大阪府指定有形民俗文化財)の
着付けをしている様子。



今昔館の人気者・日本犬の「てん
ちゃん、ろくちゃん」の色付け作
業。みんなに撫でてもらえるので、
色が剥げてきてしまうのです。

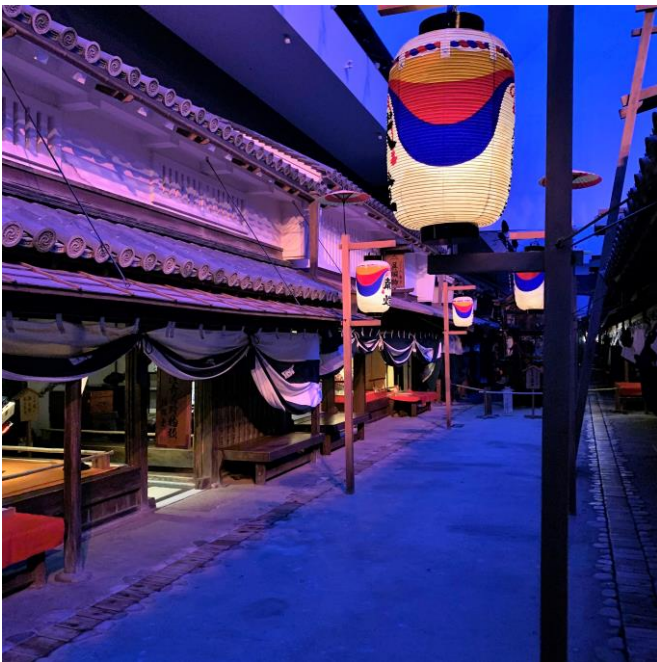


8階人形劇展示の「住まい劇場」
もお掃除します。



9階夕方の風景

まちなみ展示の演出に使用している照明（LED）の照度や色合いの調整、音とのタイミング調整などもおこないます。



9階夜の風景
空の向こうには花火が…
装いを新たにした夏の今昔館へ、
ぜひ、お越しください。
お待ちしております。